

ごあいさつ



代表理事組合長
山内 清久

平素は、JAめぐみのの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、農業・農政面においては、TPP11協定や日欧EPAなど国際貿易協定が相次いで発効され、農業者の高齢化による担い手不足、増加する耕作放棄地や鳥獣被害の拡大、ゲリラ豪雨などの気象リスクの増加、新たに発生した未だ収束できない豚コレラ対応等、国内外において懸念や課題を山積している状況にあります。

こうした中、平成30年度は第13回通常総代会で承認を受けた3ヵ年計画の最終年度として、基本方針である「創意工夫による自己改革の実施」に基づき、農業所得増大へ向けた取組みを強化すべく、マーケットインに基づく販売力強化や生産コストの削減、担い手等への経営支援や新たな担い手育成、不足する労働力確保支援体制の構築等に取り組みました。

地域の活性化に向けた協同活動の展開では、合意形成された地域営農ビジョンの実現に向けた活動や、支店感謝デーの実施、高齢者向けの生きがい活動や介護対応の強化、食育セミナーや農業体験を実施し、里芋を中心とした農福連携活動は県内外の大きな評価を受けました。

これら協同活動の実践を支えるためには組織経営基盤の確立は不可欠であり、総合事業を生かした提案活動等を実践し、農業関連資金の大幅な利用拡大となった他、全組合員訪問活動を全職員で展開し、自己改革状況報告と組合員皆様の声を事業展開に活かすための組合員アンケート調査も実施させていただきました。

元号が平成から『令和』となったこの時代の転機に当組合も新たな3ヵ年計画を樹立し、さらなる農業振興と地域社会貢献に努めて参ります。

おわりに、組合員・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和元年7月